

2026年^{から}
実施決定!

中学校 全員給食

2022年（令和4年）9月市議会で、市教育委員会は、中学校全員給食を、2026年度（令和8年）から実施すると表明しました。現在、小学校3年生が中学校入学時から、小学校5年生は中学校3年生から全員給食になります。実施方式については、センター方式で、小学校・中学校あわせて調理できる新給食センターが、赤峰市民広場エリアに新設されます。心配された小学校給食の中断はありません。私たち中学校全員給食を求める会が行った5年前の1万3千102筆の全員給食を求める請願署名が実を結びました。



市民の声が動かしてきました

署名 1 万 3 1 0 2 筆を提出

私たち「中学校全員給食を求める会」は、みなさんと力を合わせ 2017 年（平成 29 年）9 月議会に中学校全員給食を求める請願署名 1 万 3 1 0 2 筆を提出しました。当時の市議会では、自民、公明、維新などが反対し否決されました。



市や議会を動かす力に

以前より市教育委員会は中学校は「家庭からの弁当を基本とする」としていましたが、2019 年（平成 31 年）に教育長が交代し方針転換。同年 9 月議会では、市長が中学校全員給食実現を表明し、すべての会派が中学校給食について質問しました。

市民の願いが着実に市当局と議会を動かしてきました。

食育をすすめるやすい自校調理で

私たち「中学校全員給食を求める会」は、「人生最大の発育期の中学生に豊かな給食で心と身体の成長を」と自校調理での全員給食に向けての運動をすすめてきました。現行の「弁当給食」の試食会の実施や、学校給食日本一と誇りにされている宝塚市長をお招きした学習会などにも取り組んできました。



市が中学校全員給食の実施を発表

2021 年（令和 3 年）市教育委員会は河内長野市学校給食のあり方検討委員会を設置。1 年かけて話し合いが行われ、「中学校全員給食の早期実現」の答申が出されました。

2022 年（令和 4 年）5 月、市教育委員会は答申を受け、河内長野市学校給食の基本方針を発表し、「全員給食による中学校給食の実施」が明記されました。

自校調理を求める署名を市長に提出

私たち「中学校全員給食を求める会」は 2022 年 6 月「自校調理方式で早期に中学校全員給食等を求める要望署名」を市長に提出し懇談しました。



これからもよりよい給食をめざして

私たち「中学校全員給食を求める会」は、全員給食が実現されることを機に、会の名称を「河内長野学校給食をよくする会」に変更します。センター調理方式での実施となりましたが、アレル

ギー対応、地産地消の推進、食器の改善など、課題もあり、少しでも前倒しで実施できるよう、ご一緒に、これからもよりよい給食をめざしていきましょう。